

自民党は、農林水産業を活性化させ、皆さんの食料を守ります。

民主党政権では、日本の農林水産業が崩壊してしまいます。

農業分野一つを見ても、民主党は戦略・ビジョンなきバラマキ政策を進めるだけで、これでは、日本農業の体質強化や農家の収入安定にはつながりません。私たちはこれに断固反対し、夢と希望と誇りが持てる“攻めの農業”を実現します。

自民党は、国土の保全と国民の食を育む農林水産業を守ります。

— 農林水産業を守る自民党の重点政策 —

- ① 農業農村の多面的機能を評価した地域政策としての「**日本型直接支払い**」と、人や経営に着目した産業政策としての「**担い手総合支援**」を推進します。
- ② 米価下落を食い止めるため、**緊急需給対策**を実施します。
- ③ 農業農村整備事業を拡充し、**農地の利用集積**を進めます。
- ④ 国産木材の利用を促進し、持続可能な**森林経営のための直接支払い**を創設します。
- ⑤ **漁価の安定対策を強化**し、漁業者の安定収入を確保します。
- ⑥ 漁場整備と養殖・栽培漁業を推進します。

— TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への対応 —

自民党は、TPP への参加の是非について、国益を最優先に考えた検討を鋭意行っています。わが国における EPA(経済連携協定)・FTA(自由貿易協定)の現状や、アジア・太平洋諸国における経済連携の動き、また、TPPに参加した場合のプラス・マイナスの試算など、TPPに対する共通認識の醸成と論点整理を進めています。

今後は、「農業の競争力・基盤強化」「製造業の競争力」「労働市場」などの観点からも議論を深めていきます。